

順番	科目名	時間数	内容		講義名	該当箇所	担当	備考	持ち物
①特別講義1	行動障害の人の理解	2	発達心理学的視点から	比較発達心理学の立場から、定型発達の過程と自閉性障害の形成過程を比較し、基本的信頼関係の形成、意味の理解、主体性の尊重等行動障がいの人への支援にとって大切なポイントについて述べる。		レジュメ使用	加藤		同意書 受講の手引き 筆記用具
②講義1	強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	1.5	①強度行動障害とは	本研修の対象となる行動障害	「プロローグー強度行動障害のある人についての基本的な理解ー」強度行動障害とは(1)	第1章	加藤		
				強度行動障害支援の歴史的な流れ					
				行動障害と家族の生活の理解					
				危機管理・緊急時の対応					
			知的障がい/自閉症/精神障害とは	「私たちのことを知ってほしいー強度行動障害に関する障害についてー」強度行動障害とは(2)	第3章				
②強度行動障害と医療	強度行動障害と精神科の診断	「医療と一緒にー福祉と医療の連携ー」強度行動障害と医療	第7章						
	強度行動障害と医療的アプローチ								
	福祉と医療の連携								
③講義2	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	5	③強度行動障害と制度	自立支援給付と行動障害/他	「支える仕組みー制度理解のヒントー」強度行動障害と制度	第8章	加藤		テキスト 筆記用具 昼食
			④構造化	構造化の考え方	「僕らと世界のつながり方ー環境を整えることと表出性コミュニケーションの大切さー」	第5章			
				構造化の基本と手法					
				構造化に基づく支援のアイデア					
			⑤支援の基本的な枠組みと記録	支援の基本的な枠組み	「支援についての基本的なことー支援のプロセスと記録ー」支援の基本的な枠組みと記録	第2章			
				支援の基本的なプロセス					
				アセスメント票と支援の手順書の理解					
			⑥虐待防止と身体拘束	記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ	「そのとき、あなたはどうしますかー障害者虐待、身体拘束、行動制限の防止は支援の向上からー」虐待防止と身体拘束	第9章			
				虐待防止法と身体拘束について					
			⑦実践報告	強度行動障害と虐待	「支援の現場からー事例紹介ー」実践報告	事例・コラム			
児童期における支援の実際									
④講義3-1	強度行動障害のある者へのチーム支援に関する講義	1.5	①強度行動障害支援の原則	地域で強度行動障害の人を支える	「行動障害のある人の暮らしを支えるために」:強度行動障害支援の原則	第12章	加藤(1.5)		
				チームによる支援の重要性					
⑤演習1	基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	1	①情報収集とチームプレイの基本	アセスメントとは	「知ることから始めようー根拠をもって支援するー」情報収集とチームプレイの基本(1)	第4章 基礎演習4	田代		テキスト 筆記用具 軍手1組 昼食 はさみ 昼食
				情報の入手とその方法					
				記録とそのまとめ方と情報共有	「お互いに共有しようー記録と情報共有ー」情報収集とチームプレイの基本(2)	基礎演習6			
⑥演習2	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習	3	②固有のコミュニケーション	コミュニケーションの理解と表出	「わかりにくいんですー伝わりにくさを体験しようー」固有のコミュニケーション(1)	基礎演習2	田代		
				グループ討議/まとめ					
				様々なコミュニケーション方法	「本人に分かりやすい環境と活動ー支援手順書を使ってー」固有のコミュニケーション(2)	基礎演習3			

⑦演習3	行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	1.5	③行動障害の背景にあるもの	感覚・知覚の特異性と障がい特性	「私たちが困っていること－感覚の違いを体験しよう－」行動障害の背景にあるもの(1)	基礎演習1	田代	・指示書なしの折り紙 ・軍手で折り紙 ・3は飛ばし、狭い視野 ・基礎演習4の続きで冰山モデルの演習	
				行動障害を理解する冰山モデル	「本当の理由を考えよう－冰山モデルで考える－」行動障害の背景にあるもの(2)	基礎演習5			
				グループ討議/まとめ					
⑧演習6	記録に基づく支援の評価に関する演習	1.5	③記録の収集と分析	行動の記録の方法	「行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)－記録とアセスメント－」記録の収集と分析	実践演習2	田代		
				記録の整理と分析					
				再アセスメントと手順書の修正					
⑨演習7	危機対応と虐待防止に関する演習	1	④危機対応と虐待防止	危機対応の方法	「危機対応と虐待防止」：危機対応と虐待防止	実践演習3	田代	・記録シートの作成	
				虐待防止と身体拘束					
⑩特別合議2	意味了解的アプローチ	2	行動障害のある人の支援の基本	幼児期・学齢期・成人期の支援実践をもとに、「行動障害が作られていく」過程を明らかにすると共に、「問題行動」の背景にある本人の本当の思いを理解する視点、および表現できるよう支援する方法について述べる		レジュメ使用	岩崎		テキスト 筆記用具
⑪講義3-2	強度行動障害のある者へのチーム支援に関する講義	1.5	①強度行動障害支援の原則	支援の6つの原則	「行動障害のある人の暮らしを支えるために」：強度行動障害支援の原則	第12章	岩崎(1.5)	・行動の意味の理解	
⑫講義4	強度行動障害と生活の組み立てに関する講義	0.5	②行動障害のある人の生活と支援の実際	日中活動場面における支援	「行動障害のある人の生活と支援」：行動障害のある人の生活と支援の実際(1)	事例	岩崎	コラム、事例どれかを取り上げて話す。	テキスト 筆記用具 昼食
				夕方から朝にかけての支援					
外出場面における支援									
				行動障害のある人の家族の想い	「家族の想い」：行動障害のある人の生活と支援の実際(2)	コラム			
⑬演習4	障がい特性の理解とアセスメントに関する演習	3	①障がい特性とアセスメント	障がい特性の理解	「適切な支援を組み立てる(予防モデル)－行動のアセスメント－」障がい特性とアセスメント(1)	実践演習1	岩崎	第6章 行動形成と消去という枠組みでアセスメント⇄苦しさが分かってわだかまりが解け、安定する	
				障がい特性に基づくアセスメント					
				行動の意味を理解する					
⑭演習5	5環境調整による強度行動障害の支援に関する演習	3	②構造化の考え方と方法	強みや好みを活かす視点	「適切な支援を組み立てる(予防モデル)－支援手順書の作成－」構造化の考え方と方法(1)	実践演習1	岩崎	実践演習1,2 ビデオ→アセスメント→冰山モデルシート→支援手順書 STさん、AHさんにつき行う	
				構造化の考え方					
				構造化の方法					